

こが



市議会だより

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/>



翔ぶ鳥が羽ばたいているような炎（古賀中学校 校庭）

特集

第3回議会報告会	2～3
公共交通アンケート調査報告	4～5
第4回定例会 主な審議	6～7
臨時会・研修会	8
ここが聞きたい！一般質問	9～14
委員会の活動・視察報告	15～18
視察受け入れ・林活議連の活動	19

第78号

平成29年（2017年）

2月8日

発行責任 福岡県古賀市議会

議会を身近に!

多数ご参加をいただき、ありがとうございました。頂いたご意見・ご要望を報告いたします。

交流館 エントランスホール

議会報告会について

● このような機会をもっと広げてほしい。
開催周知を検討すべし。
周知方法は検討する。

視察について

● 市民に分かるように視察報告すべきではないか。
↓ 政務活動費を使つての視察については、議会のHPで公開している。

公共交通について

● 福祉的立場でバス運行を検討してほしい。
● バスが行かないところは、タクシーチケット配布などの検討ができないか。
● 便が少なく不便である。
↓ 議会でも検討中。

選挙について

● 投票時間はこれまでの20時までとすべき。周知が不足していたのでは。
↓ 選挙管理委員会へ伝える。

水道料金の値下げ

● 市長公約の30%値下げは。

↓ 議会も追求している。時間がかかるが実行すること。

給食について

● 給食センターが老朽化している。小中学校が避難場所になるならば自校式にするのが良いのでは。

給食センターだとアレルギー

● 対応ができない。自校式だとこまめな対応が可能では。
↓ 教育委員会へ要望する。

災害時の対応について

● 防災マップにある避難所へ行けない時はどうするのか。
↓ 平時から自主防災組織などの中で、避難経路・避難場所について取り決めておくことが大事。



社会福祉センター 千鳥苑

個人情報について

● 独居老人、要支援者の情報が公開されていないので周りは知らない。
● 福岡市は見守りマップを小学校単位で作っている。社協は個人情報についてのガイドラインを作っている。
↓ 福岡市を参考に検討をしたい。

生涯学習センター

● 使用料金を決める時に、市民参加で行ってほしい。勝手に決めている。公共施設の福祉という意味で市民参加でやるべきだ。
↓ 委員会でもそう考える。

観光について

● 船原古墳の発掘など今後外国人観光客も増加してくると思うが、古賀市の観光計画など対応策は。
● 古賀市の観光入ポイントは、船原古墳の公園化は計画されているが、観光計画策定は今後の課題である。札所めぐりなども観光スポットと考える。

国民健康保険

● 他市と比べて大幅な引き上げになっている。一般会計からの繰り入れなど検討すべき。市長の説明が不足している。
↓ 医療費の伸びが大きく、国保財源の安定のため、議会も苦渋の選択をした。市長への説明責任も求めた。

千鳥駅整備

● 用地買収はどうなったか。
↓ 地権者との交渉が不調に終わったと聞いている。



第3回
議会報告会

市民の声を聴

平成 28 年 10 月 22 日・23 日、市内3カ所（中学校区ごと）において議会報告会を開催しました。



玄望園開発

●玄望園をはじめ小野小学校区の活性化のためにスマートインターチェンジの設置を早急に。
↓福津市・宗像市と協議を行いたいと執行部は言っている。

防災について

●現在の防災無線は聞こえない。

米多比児童館

公共交通について

●山手の公共交通をしつかり考えてほしい。
●高齢化して車の運転もできなくなる。
↓議会でも調査・研究している。

↓拡声器の設置数を増やす予定である。
●防災無線デジタル化でどのようなになるのか。
●要支援者をどう支援するか、実際の訓練をしないと意味がない。

地域木材の使用を

●公共施設に地域木材を積極的に使用していただきたい。
↓議会としても推進していきたい。

通学路の整備

●小山田バス停から産業道路までの道路（通学路）は車両の通行が多く非常に危険。拡幅を早急にお願いたい。
↓委員会などで積極的に働きかけたい。

鳥獣被害

●イノシシ・シカのほか、カチガラス、アナグマなどによる農作物被害が急増している。電柵補助はあるが、その他の鳥獣にも対策を講じてほしい。

全体会における意見

- 小・中学校の普通教室にエアコン設置を
 - 議会の防災会議と市の災害対策会議の役割のすみわけは
 - 校区コミュニティの加入問題について
 - 医療・介護など社会保障費の課題について
 - 美明地区の小学生の防災訓練の問題について
- などの意見・要望がありました。

議会報告会幹事会会長 岩井 秀一

本年度は報告会を交流館、米多比児童館、千鳥苑の3会場において開催いたしました。テーマを「防災」ということで取り組みましたが、周知不足を痛感しています。市民から他のテーマでの懇談をとの要望もあるなど、地域ごとの問題や意見の把握に努めなければと反省。参加者アンケートなどによると、概ねワールドカフェ方式や懇談時間の延長などは好評でした。

今後の運営方法としては、より多くの地域での開催が望まれていることから、会場の選定や回数、議員のチーム編成や分担などを検討し、議員自らも研鑽して、対応するよう努めたいと考えます。

また、対象を高齢者、女性、学生などに絞って対応することも必要かと思えます。議会報告会開催の周知については、なお一層の努力・工夫が重要と考えます。



アンケートから見える 公共交通の課題

関心が高い公共交通路線バスアンケート調査結果を報告します。

政策推進会議

政策推進会議

アンケート結果は議会ホームページに公開しています

■アンケート回収結果

(単位：通)

乗車調査	郵送	FAX	公民館	行政窓口等	HP	合計
125	192	147	163	272	95	994

年齢

10代	21
20代	24
30代	49
40代	84
50代	131
60代	296
70代以上	382
無回答	7
合計	994

お住まいの校区

西小校区	126
花見	96
千鳥	76
舞の里	139
小野	138
東	123
青柳	140
花鶴	128
市外	18
無回答	10
合計	994

西鉄バスの利用は

ほぼ毎日利用	164
時々利用する	347
利用しない	463
無回答	20
合計	994

西鉄バスは必要ですか

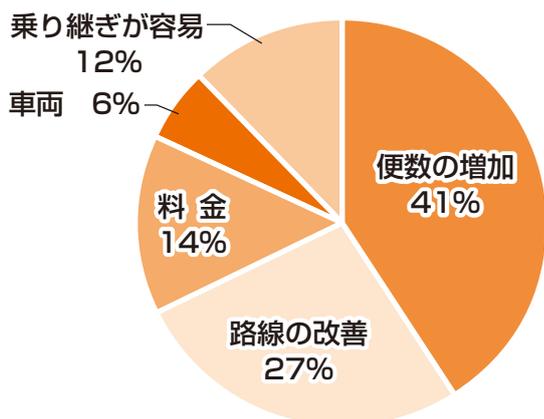
必要	603
まあ必要	153
あまり必要でない	103
必要でない	44
無回答	91
合計	994

公共交通構想に活かします！

政策推進会議 会長 田中英輔

平成28年8月1日から9月7日にかけて、バス乗車調査とアンケート調査を行いました。ご協力ありがとうございました。
乗車調査は全議員で、市内バス路線全系統の朝、昼、夕刻に乗車し、利用状況と利用者の声を調査しました。
アンケート調査は、調査の手配から整理・分析まで議員で行い、寄せられた回答は994通にのびりました。回答は、バスを利用されていない方を含め、改善を求めるさまざまな声、高齢化社会に備えた移動手段の確保を求める声など、広範な市民のニーズをつかむことができました。
調査結果をもとに、検討を進めています。

■バスは必要と答えた方の改善意見



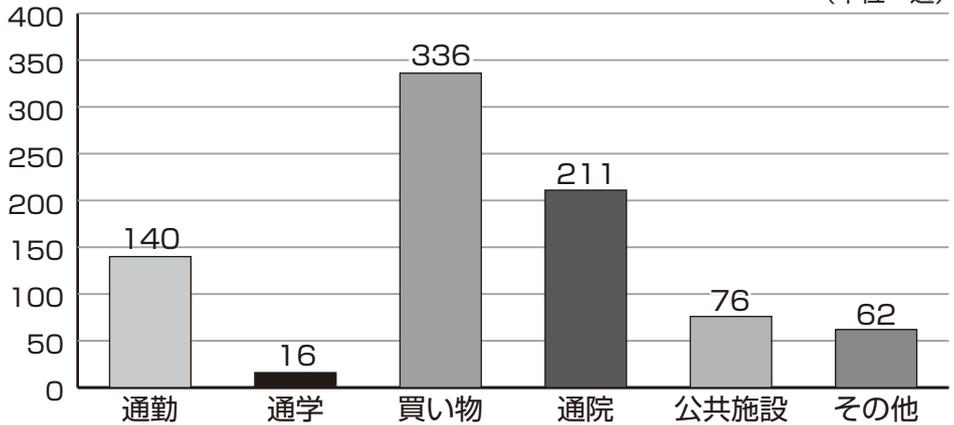
バスの中でのアンケート調査



回収箱作成作業

■バスを毎日／時々利用する方の使用目的

(単位：通)



出番を待つアンケート回収箱

■年齢階層別の利用状況 (複数回答)

	60歳以上	40-59歳	20-39歳	19歳以下	合計
通勤	84	139	46	2	271
通学	2	5	8	16	31
買い物	526	121	29	21	697
通院	323	26	10	0	359
公共施設	131	15	8	2	156
その他	109	18	6	0	133
合計	1,175	324	107	41	1,647

政策推進会議の開催状況

- 第1回：会派・議員の構想提案、意見交換
- 第2回：勉強会「公共交通活性化について」
講師 地域公共交通総合研究所 磯野研究員
花鶴3丁目「お出かけサポート」
- 第3回：乗車調査・アンケート調査取り組みについて協議
- 第4回：作業部会（乗車調査部会・アンケート調査部会）打ち合わせ
回収箱作成、各所へ設置依頼
- 第5回：各作業部会経過報告と協議
各路線に分かれて乗車調査・アンケート調査を実施（8月1～7日）
- 第6回：乗車調査・アンケート調査集約整理
パソコンを持ち寄り集計作業
- 第7回：調査結果の報告と意見交換
調査結果を踏まえた今後の取り組みについて会派ごとに検討
- 第8回：会派・議員の構想と意見交換（各会派の案について）
- 第9回：会派・議員の構想と意見交換

平成29年1月に、市長へ「政策推進会議とりまとめ」の中間報告をしました。



自由記述のアンケート

自由記述

- ・本数を増やしてほしい。定時運行をしてほしい。
- ・バスに乗りたくてもバス停が近くにない、時間が合わなくて不便。
- ・年齢的にバスを利用したいので利用しやすいように。
- ・グランドパスは便利、続けてほしい。
- ・朝6時の便がほしい。
- ・JRの駅を起点とし、市の各施設、病院、郵便局、ショッピングセンター内へ。
- ・新宮町と同様にコミュニティバスの導入を願う。
- ・大型バスを使わずマイクロバスを使用し、便数を増やしてほしい。
- ・デマンドタクシーは予約しないと乗れないので不便。
など、多数のご意見をいただきました。

第4回定例会の主な審議

平成28年第4回定例会(12月1日～16日)の
主な審議の要点を報告します。

千鳥苑

ゲートボール場を
多目的グラウンドへ

古賀市社会福祉センター
(千鳥苑)のゲートボール
場を、多目的グラウンドに
変更し、ゲートボール以外
にも活用ができるようにな
るといふものです。

文教厚生委員会に付託し、

活用の方法や安全面につい
ても審査しました。委員会
では賛成全員で可決すべき
ものと決定し、本会議でも
賛成全員で可決しました。



千鳥苑ゲートボール場

古賀市立球技場から 古賀市民

グラウンドへ



古賀市立球技場

古賀市立球技場を、市民
の健康増進及び社会体育の
振興の目的のため古賀市民
グラウンドに変更するとい
うものです。利用に關して
は、球技だけでなく、軽ス
ポーツ、交流館での講習後
の利用、親子での遊び場な
どとしての利用を考えてい
るとのこと。付託された文
教厚生委員会では、賛成全
員で可決すべきものと決
定。本会議でも賛成全員で
可決しました。

12月の主な審議

住民票が

コンビニでも

個人番号カードの交付を
受けた方が、その個人番号
カードを利用して、平成29
年4月1日からコンビニエ
ンスストアの端末機で、印
鑑登録証明書、住民票の写
し、戸籍の附票の写し、戸
籍証明書などの交付を開始
すること、及びそれに係る
手数料について審議しまし
た。付託された市民建産委
員会においては、賛成全員
で可決すべきものと決定し、
本会議では、地域や手数料
に差があるとの反対意見も
ありましたが、賛成多数で
可決しました。

セルフメディケー ションの所得控除

制度導入

現行の医療費控除の特例
として、セルフメディケー
ション(自主服薬)推進の
ための所得控除制度(施行
期日は平成30年1月1日)
を導入する改正も含まれた
古賀市税条例の一部改正を
審議しました。付託された
市民建産委員会では、賛成
全員で可決すべきものと決
定。本会議でも賛成全員で
可決しました。

督促手数料が廃止

※薬局で特定一般用医薬
品を購入した時に医療
費の控除を受けられる
特例です。

平成29年度から、市税な
どに係る督促手数料を廃止
するため、条例の一部を改正
するものです。付託された
市民建産委員会においては、
賛成全員で可決すべきもの
と決定し、本会議において
も賛成全員で可決しました。



コンビニエンスストアの端末機

平成28年度 一般会計補正予算

福祉、子育てを主に、7億3,057万3千円を追加

消費税率引上げによる負担を軽減

消費税率引上げに伴う食費の相当額を
2年半分一括給付する臨時福祉給付金。

1億6,502万3千円

障がい者サービス給付事業

B型事業所が5カ所、障がい児通所支援事業所が
2カ所増えたことによる自立支援のための給付。

4,276万9千円

特別会計補正予算

国民健康保険・・・3,666万7千円増額 総額72億5,079万4千円

農業集落排水事業・・・44万4千円増額 総額8億6,278万2千円

私立保育園運営へ補助

事故防止のためのカメラの設置や、保育士の
業務負担軽減、保育の質の向上を図るもの。

1億4,084万6千円

子ども・子育て支援

子育て環境のさらなる充実のため、
子ども条例(仮称)策定や認定
こども園移行に伴う事務補助。

14万5千円

財政調整基金積立金

法に定められた計画的な
財政運営を行うための貯金。

2億72万1千円

一般会計・特別会計補正予算は、
賛成全員で可決しました。

平成28年第4回定例会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成28年12月1日～16日

号数	議案名	結果	賛成	反対	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福岡智之	古賀誠視	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明	
85	古賀市社会福祉センター条例の一部改正	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
86	古賀市立球技場設置条例の一部改正	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
87	古賀市税条例等の一部改正	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
88	古賀市国民健康保険税条例の一部改正	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
89	古賀市印鑑条例及び古賀市手数料条例の一部改正	可決	17:1		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
90	古賀市分担金等の督促手数料及び延滞金徴収条例等の一部改正	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
91	平成28年度古賀市一般会計補正予算(第4号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
92	平成28年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
93	平成28年度古賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
94	工事請負契約の締結(古賀市防災行政無線(同報系)設備デジタル化工事)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
95	工事請負変更契約の締結(都市再生整備計画事業(仮称)古賀市生涯学習センター建築工事)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
96	市道路線の認定	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
97	北筑昇華苑組合規約の変更	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
98	専決処分(古賀市道における道路管理瑕疵に対する損害賠償)	承認	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
請願4	大規模な土地区画整理事業による美明地域の行政情報の内訳明示に関する請願	不採択	6:12		○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○
99	地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書の提出	可決	16:1		○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	退	○	○	○	○	○

議長職のため、表決に参加しない

○は賛成 ●は反対 退は退席 議員は議席番号順 ■は議員提出議案

請願

28年請願4
大規模な土地区画整理事業による美明地域の行政情報の内訳明示に関する請願

この請願は、鹿部土地区画整理事業による美明一丁目、二丁目、三丁目(鹿部行政区1、10、11、12各組)の行政掲載情報に関して、内訳明示の措置を求めるものです。

美明地域は、鹿部土地区画整理事業として、平成18年10月に「四季彩の杜・美明」として造成。集会所予定地2カ所を含む2730人の人口計画を掲げている地区ですが、同じ大規模な区画整理事業による花鶴丘や舞の里地域のように、丁目別の人口、世帯数などの行政情報が開示提供されていない現状が続いています。美明地域は花鶴小学校の通学区域として位置づけられ、同小学校の過半数を美明地域の児童が占めています。美明地域住民が将来にわ

陳情

「地球を守る社会体制創り」の為に陳情

陳情者 荒木 實

意見書

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

地方議会議員は、近年は

たつて一層の地域コミュニティの絆を發展させていくために、広く誰の目にも現状や推移が把握しやすいように、古賀西校区行政区鹿部の行政情報の中に美明地域の明示を求めるものです。総務委員会に付託し、反対意見としては、鹿部区は、隣組単位の戸数や人口のデータは、区民総会の資料として配布されており、ある区域だけについての行政資料の内訳表示は、誤った理解が生じる危惧があるなどの意見があり、賛成意見では、行政情報、とくに統計情報の開示提供は当然であるとの意見がありました。

採決の結果、委員会、本会議とも賛成少数で不採択となりました。

請願者

「美明を子どものふるさとに」の会 吉野 誠一
紹介議員 吉住 長敏

地方議会議員は、近年は専門化が進んでいる状況です。一方、投票率の低下傾向とともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっています。この意見書は、国民の幅広い層からの政治参加や、地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を求めるものです。採決の結果、賛成多数で採択し、国の関係機関に提出しました。

提出者 議会運営委員会
委員長 姉川 さつき

第1回臨時会の主な審議

平成28年第1回臨時会の主な審議の要点を報告します。

11月22日

平成28年度一般会計補正予算

花鶴学童

仮設保育室設置

花鶴学童保育所では、入所希望者が年々増加しています。平成29年度以降の4年間にわたり、既存施設の収容人数を超える見込みのため、仮設保育室1クラブを、債務負担行為にて設置し、来年度から使用するものです。

議員から、既存施設から離れての設置の問題や、安全面の対応、リースは4年ではないのかとの問いがありました。また4年リース以降は、市の施設ともなるので必要な期間は、使用可能との回答がありました。

生涯学習センター(仮称)及び周辺施設の整備

3,200万円

生涯学習センター(仮称)建築工事の進捗に伴い、当初設計時には予見できなかった基礎工事などの変更、消防法、福岡県福祉のまちづくり条例、耐震・耐火補強などを行う必要と、雨水排水管設置などの外溝工事を行う必要があり、不足する予算額を増額補正するものです。

今回の工事について、当初設計が甘かったのでは、との問いに、いろいろな分野の設計士による設計を集めて基本設計をしているが、図面の食い違いなどは発生するもので、その対応の工事とのことでした。採決の結果、賛成全員で可決しました。

平成28年度 第1回臨時会 補正予算

特別会計

国民健康保険	66万9千円増額	総額72億1,412万7千円
後期高齢者医療	17万4千円増額	総額 6億5,942万1千円
介護保険(保険事業勘定)	153万4千円増額	総額34億5,035万7千円
介護保険(介護サービス事業勘定)	12万2千円増額	総額 3,307万7千円
公共下水道事業	64万7千円増額	総額19億9,774万8千円
農業集落排水事業	16万5千円増額	総額 8億6,233万8千円

一般会計

7,086万円増額	
総額199億7,956万3千円	
水道事業	
収益的収支	支出 113万9千円増額
資本的収支	収入 967万8千円増額
	支出 1,065万9千円増額
総額	総額11億8,165万6千円
	総額 1,207万9千円
	総額 3億6,029万円

平成28年第1回臨時会 議案の議員別賛否一覧

会期：平成28年11月22日

号数	議案名	結果	賛成	反対	阿部友子	伊東洋子	高原伸二	平木尚子	奴間健司	岩井秀一	田中英輔	福岡智之	古賀誠視	森本義征	松島岩太	吉住長敏	井之上豊	内場恭子	姉川さつき	渡孝二	村松謙二	清原哲史	結城弘明	
76	専決処分(下水道施設管理瑕疵に対する損害賠償)	承認	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
77	古賀市一般職の職員の給与に関する条例等の一部改正	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
78	平成28年度古賀市一般会計補正予算(第3号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	平成28年度古賀市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
80	平成28年度古賀市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
81	平成28年度古賀市介護保険特別会計補正予算(第2号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
82	平成28年度古賀市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	平成28年度古賀市農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
84	平成28年度古賀市水道事業会計補正予算(第2号)	可決	18:0		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○は賛成 ●は反対 議員は議席番号順

研修会報告

古賀市の上下水道の現状と将来への見通し

10月24日
配水量、給水人口、利用件数から、財務、資産、受水状況の経営状態についてなど、現在の水道事業の状況から、将来に向けた料金設定、経営の効率化の研修を行いました。



水道課の説明を受ける市議会



糸島市で行われた研修会

福岡県中部十市議会 議長会議員研修会

11月15日
伊都文化会館で行われた研修会では「わが国における文字文化の発祥地伊都国」と「福祉ロボット研究動向と産官学連携による福祉ロボット開発普及活動」の講演がありました。

ここが聞きたい!

一般質問



岩井 秀一
(志成会)

スマートICの設置について課題は

(答) 近隣市や関係機関と協議を進めている

問 玄望園の開発について、その進捗は。
市長 現在、土地区画整理準備組合において、地区計画を基本とした事業化の実現に向け進められている。市としても総合振興計画に記載しているとおり、早期の完成に期待している。

市長 総延長約45kmのうち、前年度末時点で約33kmを整備した。現在は県道も含め4路線の道路整備に着手しており、未着手の路線については全体の状況を勘案し、順次着手したい。

問 大型商業施設の進出や動向は。

市長 後期基本計画にも明記しているが、新原高木地区や今在家地区での企業誘致の推進や中長期的には、国道3号線から主要地方道筑紫野古賀線での有効な土地利用転換を検討している。企業情報収集のアンケートを分析し、候補地を具体化していく。

市長 高田土地区画整理事業地内では、スーパーマーケットを中核店舗として、出店の準備中であり、舞の里イオン跡地については中古車販売の「ビッグモーター」が着工され、生鮮食料品店や家電量販店の出店も予定されている。

問 危険な通学路や狭隘道路対策は。

市長 古賀市通学路交通安全プログラムにより、一旦停止線やグリーンベルトの設置に取り組んでいる。

市長 本市では、「古賀市通学路交通安全プログラム」により、一旦停止線やグリーンベルトの設置に取り組んでいる。



変化が見られない千鳥駅周辺の開発は



内場 恭子

自治基本条例の施行で自治は進むのか

(答) 住民自ら解決するのが住民自治だ

問 第4次古賀市総合振興計画後期基本計画に、自治基本条例の記述がないが、市長の考えは。

市長 住民自治の進展に期待する。

問 住民自治は市民の声を聴くことだ。市長は、直接出かけ、市民と話をする機会を作るべきだ。

平成27年の合計特殊出生率は1・47%となった要因は何か。

市長 子育て環境がよくなった。

問 子どもの通院医療費無料化や生活支援の拡充で、子どもの貧困対策の推進をすべきではないか。

市長 限られた財源でしている。

問 子どもの貧困率は16%。家庭の貧困が影響。対策は間に合うのか。

市長 今できることはやっている。

問 ソーシャルワーカー増員などをしてほしい。現在、35人以下学級を実施しているが、5年後もこのままか。

教育長 目標はこのまま。30人前後の学級がよい。35人以下学級の実施は、市単独では困難。

問 30人以下学級の実施を期待、教育環境の改善や支援を求める。

市長 西鉄バス赤字補てんの今後は、通勤、買い物などの公共交通対策は。

市長 西鉄バスは基幹交通で維持。

問 公共施設や買い物、病院などへの巡回バスやコミュニティバスを実施すべきだ。老後の安心のための雇用や生活環境、医療、介護、健康づくりなどへの対策はどうか。

市長 2025年を見据えた在宅ケアに取り組み、健康寿命の延伸で、あらゆる年代の健康増進を進めたい。

問 国に改善を求める声を上げてほしい。年金・医療・介護の改善から市民を守り、子どもたちの未来を守る、市民の声が生かされる古賀市を望む。



民主主義は理解し合うことから

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。



田中 英輔
(山海会)

「計画的な財政運営」に財政計画が必要では

〔答〕 やりくり算段しているのが現実

問 2015年の国勢調査の結果は39人の増加だった。総合振興計画や個別計画との乖離がある。こうした状況を計画にどう生かすか。

市長 目標の6万5千人に向け各政策を着実に進める。個別計画についても、それぞれの目標に向け取り組む。

問 生産年齢人口は今後さらに減少する、後期基本計画5年の財政見通しは。

市長 5年間で生産年齢人口が減少し、高齢者人口が増加したが、市税収入は横ばいである。社会保障費は今後も増大すると見ており、国の政策や景気の動向を見て対応する。

問 後期基本計画では、少子高齢化社会に直面し、「計画的で効率的な財政運営に努める」としている。中長期の財政計画が必要では。

市長 交付税に左右され予測できず、やりくり算段するのが現実である。

問 大阪府大阪狭山市や兵庫県三田市は「中長期的な財政計画を策定し効率的で効果的な財政運営を行う」と条例に定め取り組んでいる。検討すべきだ。

問 人口減少の中で、雇用は課題である。

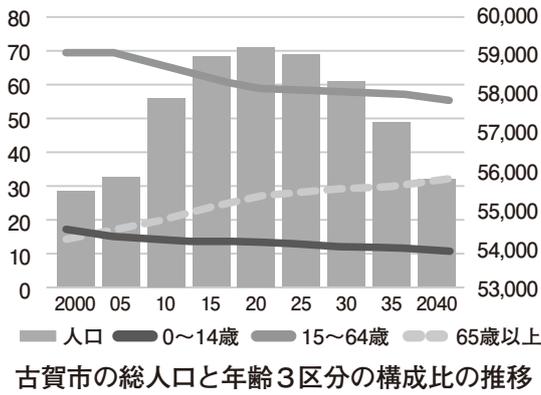
古賀市無料職業紹介所は年間300人以上の就労を決定しているが、正規雇用は毎年100人程度である。正規雇用拡大、若者の雇用拡大にどう取り組むか。

商工政策課長 無料職業紹介所を基本に、若者の就労は県と連携し取り組む。

問 市内事業所の正規、非正規雇用の就業者数の状況は。

商工政策課長 把握していない。

問 雇用対策を進める上で把握は必要だが、非正規雇用の8割は収入が200万円以下である。ふるさと就労促進事業など、さらに正規雇用拡大を図っていただきたい。



一般質問



井之上 豊
(公明党)

まさかの時のために万全の防災を

〔答〕 優先順位を検討し研究していく

問 博多駅前道路陥没を見て、古賀市は路面下調査をしないのか。

市長 現在、調査を予定している道路は、380kmあり、優先順位を検討している。

問 調査方法はどのようなものか。

建設産業部長 県、国では電磁波搭載の車を使った調査を行っているので、同じような方法を考えている。

問 電磁波搭載車での調査は効果的と聞いている。ぜひその方法で要望する。

問 AEDの設置場所を誰にでもわかるようにできないか。

市長 古賀市には現在、120カ所に設置しており、日本救急医療財団のマップに掲載。また、平成29年4月には粕屋北部消防本部でAEDマップを作成とのこと。

問 AEDの設置場所をコンビニ、広報こが、回覧板などで周知できないか。

総務部長 設置場所は刻々と変わり、書面などで周知するのは危険。

問 設置場所の件だけではなく、使えるようになることが大事と思うが。

総務部長 防災訓練などで経験できるようにしていく。

問 防災士を増やせないか。

市長 防災士とは、NPO法人日本防災士機構が意識、知識、技能を認定した者を行い、県では、年4回の講習を受け試験に合格しなければならぬ。費用も6万円程度かかる。今後、市の支援も含め、考えていきたい。

問 女性の視点を活かした防災対策も必要と思うが。

総務部長 現在18人の女性の消防団員が防災の啓発にたずさわっている。

問 先に述べた、道路路面下調査、AEDの設置場所、防災士の件と来るべき災害に対し、どう対処するのか、検討を願う。



AEDの設置場所



吉住 長敏 (連)

市職員が率先、古賀市に戻り移り住もう

(答) 2年で22人中、15人が市内居住

問 市内居住職員の割合、住民税の額は。

市長 平成28年1月現在、市内居住者52・2%、約4600万円ある。

問 採用試験募集で市内居住を奨励する記載の効果はあったか。

市長 採用後、市内に転居する職員もみられ、少なからず効果はあがっている。

問 原則市内居住の規定は憲法違反か。

市長 憲法20条に抵触するのでは。

問 市内居住が増加する意義は何か。

市長 地域住民として関わる、災害への迅速な対応、税収増の3つがある。

問 市内居住住居手当を加算しては。

市長 その考えは持っていない。

問 市外居住者人数、その住民税額は。

人事課長 171人で総額約3700万円である。

問 2年前の市内居住奨励の議論の範囲から今や相当進歩した。総社市などでは市内居住を要する旨の規定がある。

人事課長 承知しているがまだ少数。

問 市内外に古賀市に住もうとアピールしている職員が率先してイターン、Uターンすべきでは。せめて6割以上になるよう全力をあげるべきだ。

総務部長 平成26年度新規採用で13人中9人、平成27年度9人中6人が市内に居住している。

問 京都市は市外居住者が30%で、市内居住を促進する住宅手当加算を防災の観点で上乗せ措置している。6万5千人へあらゆる手を打つべきだ。

市長 もう少し増やす必要があると思う。現状は市職員の約80%が10km以内に住んでいる。

問 判例等も市内居住規定は法令緩和の方向にある。先輩職員が率先垂範して市内に住む素地を広げてほしい。

その他の質問

指定管理者施設利用者の声を聴く措置

地域防災のカナメ、消防団の現状と今後

～古賀市が求める人材～

古賀市では、総合振興計画を核として古賀市の目標を実現するために様々な取り組みを進めています。

そのために必要な人材として、期待される職員像を明示しています。

- ★全体の奉仕者としての使命感と倫理観
- ★市民と地域への熱い思い
- ★創造性と挑戦
- ★協力とコミュニケーション

市民と市職員が一体となり、まちづくりを積極的に進めていくため、職員の市内居住を奨励しています。

市職員採用試験案内の表紙より

一般質問



福崎 智之 (自由クラブ)

歩くことが楽しくなる歩道の整備とは何か

(答) 緑、憩い、交流。後世まで愛される道

問 歩くことが楽しくなる歩道の整備とは何か。具現化するために必要なことと、古賀市内外に及ぼす影響は。

市長 キーワードとして、緑、ゆとり、憩い、交流などが考えられる。沿線住民と協議しながら、住民の意見を反映した道にしていきたい。宮地岳線跡地の活用により、市が掲げる安全で安心して暮らせるまちづくり、健やかで元氣溢れるまちづくりにつながるものと考ええる。

問 引き続き地元住民との協議に取り組んでいくことが必要と考えるが。

市長 合意の時間は必要。必ずしも計画通りに着工することだけが至上命題ではないと考える。

問 車道ありきではなく、歩道優先として再計画してはどうか。

市長 通学路の安全確保、緊急車両のアクセス向上、防災機能の強化を考え、車道が必要という結果になった。根拠もなしに、まず車道だということではない。歩道、遊歩道を作る余地はある。速度制限ができる車道もあり、地域住民の希望も取り入れ、市としての必要性も理解を得た上で、合意形成を行っていけば良いと考える。

問 沿線住民が要望している再案の説明は、いつ頃になるか。

建設産業部長 業務発注準備をしている。現地状況の再確認もあり、2月下旬以降に示す予定。

問 歩いて楽しくなる歩道、安心して歩ける道が、言葉どおりに実現されれば、遊歩百選にも劣らない古賀市の名所になるのではないか。

市長 遊歩百選を目指そうというアイデアは素晴らしいし、可能であると考ええる。沿線住民の意見を聞きながら、後世まで愛される道をぜひとも作りたい。

問 建設課の再案を期待している。

建設課の再案を期待している。



後世まで愛される道へ



平木 尚子
(公明党)

住みよい古賀市へ目指すものは

(答) 時代の変化や市民ニーズを施策に反映

問 安全なまちづくりについて、また、車の運転が不安になった高齢者が安心して公共交通に移行できるきっかけや、対策をどう考えるか。

市長 防災、防犯、交通安全といった市民が安心して暮らせる環境整備を行う。また、1月から70歳以上の方には、100円バスの運行(1年間の運行実験)が始まる。利用していただき、実績が上がれば、交通機関の確保につながる。一つの方策として、基幹交通の利用促進に努力をしていく。

問 ころ豊かに学び続ける人が育つまちづくりについて、どのような構想を持っているか。

市長 子どもから高齢者まで、全ての市民が学び、文化芸術やスポーツに触れることのできる環境整備に取り組み、必要性や重要性について、市民意識の向上を図ることが必要。

問 すこやかで元気あふれるまちについて、指定管理であるクロスバルこがとも連携した市民の健康づくりのためのプログラムなどはできないか。

市長 「クロスバルこが」には、古賀市民限定のイベントもあるが、サービスの範囲

である。古賀市民に特化した事業を行うと、新たに経費もかかる。その中で、健康づくりに最も効果的なものが何かを考えながらやっていきたい。

問 多くの人が住みたいと思う市であるためにはどうすればよいと考えるか。

市長 生活する都市。子育て、教育、就労の3つが整うことが大事。そこに力を入れていく。「近くの者喜べば、遠くの者きたる」というまちづくりをしたい。市の方向性を明確にし、それを内外に知ってもらうことは大切。そのように努力をしていく。



住みよい古賀市の拠り所でありたい



阿部 友子
(連)

まちの活性化は人づくりから

(答) まちづくりへの関心を高め主体的に関わる

問 まちづくりは「人づくり」といわれるように、地域づくりを担う人材の育成は重要。まちを元気にするには人だと思ふ。人はまちの財産。まさに人財である。

市民ニーズが多様化し、行政のみのサービスでは間に合わなくなっている現状から、市民のNPOなどによる課題解決は必須の状況だ。まちづくりを担う「人づくり」は、今以上に意識を持って取り組む必要があると考える。市長の所見を。

市長 まちづくりへの関心を高め、主体的に関わっていただく「人づくり」が重要。市民同士の仲間づくり、情報の共有、場の提供に努めたい。

問 生涯学習のあり方について。

教育長 第2次生涯学習基本計画に基づき、個人の学びを大切に、市や団体の活動に参加し、さまざまな人との交流が広がる社会をめざす。

問 第2次生涯学習基本計画では「人づくり」の観点が弱くなっている。宗像市の「むなかた市民学習ネットワーク」は、約140の講座に年間7万人の人が学び、福津市では「郷育カレッジ」という名前で毎月20以上のメニューで、知識や経験が地域

に還元される「人づくり」を行っている。**生涯学習推進課長** 他市を参考にコスモス講座に活かしたい。

問 古賀市の市民活動の推進についての考えを。

市長 市民の自発的・自主的・公益的活動を支援するため、つながりひろげを設置。相談、情報発信、団体の研修・交流促進を行い、活性化に向けて取り組んでいく。

問 市民活動支援センターの民営化を検討しては。

総務部長 委託も視野に入れて研究を進める。



多彩なメニューの生涯学習(福津市・宗像市)

◇一般質問の掲載は通告届け出順です。

◇議会だよりに掲載する一般質問の原稿は、議会議事録をもとに質問した議員の責任でまとめたものです。



村松 謙二 (希来里)

西鉄バスの運営が本社へ変わるとどうなる

(答) 労働条件などの変更で、便数減になる

問 活性化委員会の提言で指摘された課題である「地域に向いての意見交換会」は実施したのか。

経営企画課長 年度初めに、運営主体が現状の西鉄バス宗像から、次年度に西鉄本体へ移行する旨の報告を受けたため、平成29年度の運行体制がどう変わるか、補助額の影響がどうなるかの協議に時間を要した。地域に向いての意見交換会は、ある程度の見通しを立てて何う計画だったが、想定外の提起があり、タイミングを逸した。

問 来年度、西鉄バス宗像から本体へ運営が変わるとのことだが、具体的にどう変わるのか、補助額の見通しは。

経営企画課長 協定では、現行の路線バスの維持が大原則だが、運営会社が変わると運転士の労働条件が変わるため、運転する時間数が少なくなり、結果として運行便数を減らさざるを得なくなる。協議の結果、補助額は若干下がる見込みになった。だが1月下旬から実施する100円バスの補てん額が加わるので、トータルとしては若干上がるのではないかと思う。

問 平成24年度の第4次総合振興計画の年間バス利用者数の目標値が、5年後の平成

第4次総合振興計画の代表的な指標

指標名	現況	目標値
年間バス利用者数	249,738人 (H21年度)	280,000人 (H28年度)

後期基本計画原案の代表的な指標

指標名	現況	目標値
年間バス利用者数	258,070人 (H27年度)	280,000人 (H33年度)

年間バス利用者数の目標値 (平成28年度、平成33年度)

28年で28万人とあるが、今年10月に提出された後期基本計画原案の中の、平成33年度の目標数も全く同じ28万人だ。これでは「絵に描いた餅」ではないか。毎月必死で目標を達成する対策を考えているのか、目標が単なる数字だけで終わっているのか。市長は毎月、バス利用者数を把握しているのか。市長は毎月の利用者数の報告は受けていない。

問 そもそも利便性が悪いから利用者が増えないことをわかっていない。

一般質問



奴間 健司 (希来里)

「健康と地域づくり」を戦略的な優先課題に

(答) 施政方針の重点施策議論の中で検討する

「健康と地域」こそ最重要課題だ

健康づくりを推進する「司令塔」を

問 2025年まであと9年。健康と地域づくりに力を入れ、市民が安心して暮らせる基盤を確立することが最重要課題だ。市長提案への対案でもある。

市長 さほど相違はない。健康を強調するところが少し違うかと思う。

問 2015年度の医療費は、対前年度比5・9%増。医療費金額ミス問題が発覚したが分析機能は大丈夫か。

市長 作業実態は把握していないが、それなりに進んでいると思う。

問 医療費抑制に向け、市長をトップに各部のやる気のある職員、保健師で構成する「司令塔」を確立したらどうか。

市長 参考意見として検討する。

問 8小学校区を担当する保健師、各自治会2名ずつの健康づくり推進員、校区コミュニティ担当者の確保を。

市長 貴重な意見として検討する。

問 この人件費は未来への先行投資として市長が盛り込むべきではないか。

市長 健康づくりの重要性については議員と同じ気持ち。保健師を増やすとも増や

さないとも言わないが、保健福祉部と検討して対処したい。

市長記者会見の動画は効果的

「ヘルスアップページ」の開設を

問 長野県松本市のように、記者会見の様子を動画でアップしたらどうか。

市長 現時点では考えていない。

問 古賀市のホームページでは健康づくりの情報がわかりにくい。一つのページにまとめ、関係各課の職員が共同で作成すれば縦割りの弊害も解消できる。医療費ミス問題の解決にも役立つ。

市長 来年度、市ホームページのリニューアルを予定。その中で専用ページの開設も含め検討する。

中村市長提案

健康と地域ビジョン (奴間健司提案)

後期基本計画重点プロジェクト 2017年～2021年

① 地域活性化プロジェクト

② 快適安心プロジェクト

③ 子どもすこやかプロジェクト

④ 暮らし支え合いプロジェクト

⑤ 生涯活躍プロジェクト

① 健康で安心して暮らせるまち

② 子育て、子育て、若者の希望

③ にぎわいと活力・農商工連携

④ 防災・防犯・環境・平和

⑤ 文化・スポーツ・生涯学習

⑥ 計画的行財政運営・市民参画

後期基本計画案と「健康と地域」の比較

総務委員会

11月2日

委員長 森本 義征
岩井 秀一
副委員長 井之上 豊
田中 英輔 村松 謙二
清原 哲史

地域防災の要は

ハードとソフト両面で

危機管理係より、災害時における物資の供給に関する協定を、NPO法人コメリ災害対策センターと締結。防災行政無線のデジタル化工事は、公募型プロポーザル審査を実施した結果、パナソニックに決定したとの報告がありました。

問 地域の防災力を上げるために、防災士の養成・配置の計画は。

答 地域防災の要である消防団、消防団の女性部などの確保が厳しい状況の中、男女の防災士など、マンパワーの充実は必要と考えている。

問 過去の教訓では、災害時には人的な支援が一番重要であった。



迅速な情報伝達を



運営が西鉄バス本社へ

バスの運営が

西鉄バス本社へ

経営企画係より、西鉄バスの利用者数、シャトルバス、地域移動サポート補助実績の報告がありました。

問 西鉄バスとの協議の進捗状況は。

答 来年度の運行補助額等は協議中で、交渉窓口が宗像から本社へ変更になり、人件費などにおいても協議が必要になるが、赤字補てん額は当然縮小する交渉を行う。

問 西鉄バスへの補助金が増額になっても今の運行形態を維持していくのか。

答 基本的には、運行形態を維持することをもとに交渉していきたい。

行政・事業評価と共に

費用対効果を反映



大切な税金の使い道

財政係より、予算編成の説明があり、平成27年度決算では、実質収支が黒字になり、財政力指数などの数値が改善された一方、市債残高は増加し、基礎的財政収支は悪化する結果になった。

平成29年度予算編成の基本的な考え方として、事業の全件査定を行い、経常的経費の精査を行い、補助金改革を実施したいとのこと。

問 財政計画と連動した予算編成か。

答 平成29年度の収入見込みに見合った予算を組まざるを得ない。例年、歳入より12億13億円超過して予算要求があるため、歳入歳出のバランスをとり、予算編成が確定する。

問 財政課としての方針は。

答 行政評価、事業評価などを実施しており、査定は、経営企画課と共に金銭的な面を見て、削減、費用対効果などを指摘している。

古賀市自治基本条例



古賀市まちづくり基本条例

自治基本条例の名称変更

自治基本条例

条文の内容は十分か

コミュニティ推進係より、古賀市自治基本条例の名称を「まちづくり基本条例」にしたと報告、説明がありました。

問 条例の名称変更の経緯は。

答 策定委員会の中で、まちづくりの基本事項を定めるといふ意味でこの名称がふさわしいと合意がなされた。

問 基本条例の中に、財政運営、情報公開、総合振興計画との関係などの記述が必要ではないか。

答 行政内部で検討を行い、条例文などの見直しをしたいと思います。

文教厚生委員会

11月7・8日

委員長 伊東 洋子
 吉住 長敏 平木 尚子
 副委員長 福岡 智之
 阿部 友子 内場 恭子

古賀北中学校区に

地域密着型介護施設整備

国の「介護離職ゼロ」の実現に向けた緊急対策として、病院区に所在する国有地（公務員宿舎）7000㎡を活用した介護施設の整備について国から打診があり、未整備である古賀北中学校区にも配置ができることから、進める方向で一致しました（平成30年度内開設予定）。

整備する施設の概要（原則市民のみ利用可）

- ① 地域密着型特別養護老人ホーム
- ・定員29人、短期間宿泊定員1人以上
- ② 小規模多機能型居宅介護サービス
- ・登録定員29人以下、通い15人以下、宿泊9人以下

特定健診・がん検診の

受診率は上がったか

特定健診の受診率は、10月末現在で25%程度です。医療機関では11月までの健診となっているので、その人数と、12月に、JA粕屋北部プラザで集団健診を追加していきますので、受診率はもう少し伸びる状況にあります。

問 さらに受診率向上のための取り組みや対策は。

答 行政区ごとに回覧板での周知をお願いしている。集団健診の回数は増やしたので、今後は健診の日程と、勸奨のタイミミングを考えていく。また、定期的に病院で受診をしている人の検査結果の提供をいただき、受診率に反映させていくことで、現在受診率も伸びている。

平成28年度文部科学大臣表彰学校給食表彰において、小野小学校の受賞が決定しました。栄養教諭と連携した食に関する指導、そして、地域や家庭とともに取り組む食育が評価されたものと思います。これを励み



喜びの小野小学校 芹野校長

20歳の胃がんリスク検診

今年度成人式を迎えた人には、胃がんリスク検診の個別通知をしています。11月から2月末までに、古賀市内の指定医療機関での検診となります。

20歳になり、今後のがん予防や生活習慣の改善で、自分の体に責任を持った大人になってほしい。受診は無料です。

小野小学校学校給食表彰

おめでとうございます

常任委員会報告

に食育のさらなる充実を市内全体で図りたいとの報告がありました。

報告後、11月10日、秋田市で表彰式がありました。

リーパスプラザごがの

利用状況は

8月のオープンから3カ月を経過して、リーパスごが交流館の利用率の報告がありました。

時間貸しの施設については、8月は29・85%、9月は32・65%、10月は44・86%。10月の割合が高いのは、市の行事の頻度が高かったため。時間貸しの施設の月間の利用人数は3カ月平均して、およそ1万人。（無料スペースの利用者も含む。）10月の自習室では、延べ1737人の利用があったとのこと。

問 利用者からの意見が、どのくらい、どんなものがでているか、また、どのような対応をしているのか。

答 「車椅子を利用する時に屋上テラスへのスロープがきつい」との声がある。声をかけてもらえば、職員が対応する。

「ロータリーからの点字ブロックが少ない」「階段の点字の位置がわかりにくい」との声にも、職員で誘導するなどの回答もありました。



市民が利用できる介護施設予定地

市民建産委員会

10月31日 委員長 奴間 健司
11月4日 高原 伸一 古賀 誠視
副委員長 松島 岩太
渡 孝一 姉川さつき

市民農園・青柳に開設

市民が農産物を生産することにより生きがいや、農業への理解と関心を深めることを目的に、農地の所有者が貸農園を設置する際に、経費の一部を市が補助するもの。場所はコスモス広場から青柳川をはさんで南側、予定区画数は30区画で、開設予定は平成29年4月。

問 市民農園では、皆さんが楽しそうに野菜づくりに励んでおられるが、一区画の利用料金は。

答 利用料金は一区画、年間1万円を予定している。



楽しい野菜づくり

個人番号カード発行の状況は

市民国保課の報告では、平成28年度9月末の個人番号カードの交付件数は2687件となっている。平成27年度の486件を合わせて3173枚の交付が済んでいます。

問 新聞報道では、個人カード申請が九州7県で8・7%、福岡県は申請率が8%とあるが、古賀市では何パーセントぐらいか。

答 申請件数については、最新で4550件で8%弱となっている。

問 報道によると交付申請が伸びないのは行政サービスが広がっておらず、利便性があまり感じられないことが要因とある。

答 古賀市もコンビニ交付を平成29年度開始を見込んでおり、今後カードの利便性を増やすことが普及率の拡大につながると思う。

古賀市水再生センター

消化ガス発電

発電事業・事業者決定

プロポーザル審査委員会にて、平成28年9月に事業者を決定し締結しました。代表企業は、(株)九電工、構成企業は月島機械(株)と(株)正興電機製作所、発電能力は25kw/hの発電機を8台設置することで、200kw/hの能力を有します。年間推定発電量は約130万kwh、一般家庭に換算すると、約360世帯分の電力を賄う。この発電事業を行うことで、年間のCO₂削減量は約680tを見込んでいます。

問 古賀市にとつてのメリットは年間借地料とガス売却代、合わせて500万円から700万円の収入で、グループ企業が20年間で10億円の利益とあるが。

答 76万8千m³ほどの年間のガス量を想定し、売却収入・敷地使用料を見込んで、500万円から700万円の収入。

事業者の電気
の売電収入は20年間
で約10億円の計画。



古賀市水再生センター

企業立地促進条例制定から1年

この条例は、市内における企業などの立地を促進するための、必要な措置を講じ、産業の振興・雇用機会の拡大を図り、地域経済の発展と市民生活の向上に資することを目的に施行されました。

1、事業開始に伴い建築(増築)した家屋、構造物、取得した土地に、固定資産税を3年間免除する。

2、新規に正規雇用した従業員が古賀市に在住している(した)場合に、1人12万円、本社機能を設置した場合1人24万円を交付する。

3、本社機能を設置した事業者に対して、正規雇用の従業員が古賀市に転入の場合に要する費用や、本社機能の設置に要する事務的経費や本店登記した場合の登記費用相当額を交付する。

問 条例が制定され約1年になるが、市内外を含め工場の増設・進出や、それに伴う雇用や転入はあったのか。

答 効果としては福岡県内だけでなく、関東圏からも本社が古賀市に移転するなど、大きく効果が表れている。古賀市の工業団地・古賀物流団地に立地していただいている企業には、説明会や情報提供などを実施している。

市政に活かせ！先進地を視察

3 常任委員会と議会運営委員会が視察研修を実施しました。

議会運営委員会視察

議会BCP策定に向けて

兵庫県西脇市議会

10月13日

▼長期欠席議員の報酬削減条例、視察報告書や常任委員会会議録のホームページ公開、議会基本条例の検証方法。

滋賀県大津市議会

10月14日

▼4年間の任期中の

任務を明記した「議会ミッションロードマップ」（交通基本条例、正副議長の所信表明制度の導入など）

▼災害時の議会BCP（業務継続計画）、災害発生時の初期期（発災後3日～7日）、中期（発災3日～7日）、後期（発災7日～1カ月）、1カ月以降の各期間の議会の対応策を定めた計画。古

賀市議会も今年度中の策定に向け準備を始めています。



大津市議会のサバイバルローラーバッグ

総務委員会

自治会が作る防災マップ

大阪府摂津市

10月3日

▼防災全般

継続計画などについて質疑を行いました。特筆すべき点は、防災会議女性専門委員会の設置、防災従事者のDNA保管事業、自治会単位での防災マップの作成など、行政側から

の押しつけではなく、自分たちの意思で工夫して作られたことに、意義があると思われま

大阪府大阪狭山市

10月4日

▼自治基本条例制度の調査・研究

この条例策定に至る経緯では、議員からの提案であったこと。懇話会を設置し、行政主導での策定ではなく、市内で日常



防災の取り組みをビデオで研修

生活を送る人々の参画を得て策定したとのこと。在日外国人も定義に該当すれば市民であるとの判断。ただ、制定はしたが、認知度が、まだまだ低いとのこと

文教厚生委員会

教育環境と子育て支援を視察

岡山県津山市

10月3日

▼トイレの洋式化の取り組み

教育分野の現状と目標値を掲げた教育基本振興5カ年計画と、小・中学校35校のトイレの洋式化の取り組みを視察。暗い汚い臭い学校トイレから、明るく、快適な洋式トイレ化が全

体の校舎棟の65%以上に達すること。

山口県周南市

10月4日

▼情報発信ツール「はびはぐ」導入

スマホの急速な普及に着目し、スマホによる子育て応援サイト「はびはぐ」を導入した経緯や、利用者の現状などの説明を受けた。登録者は1年で3倍に増加したとのこと。



津山市の北陵中学校の洋式トイレ

古賀市の教育環境や子育て支援につなげたいと思います。

市民建産委員会

利活用を学び古賀市に活かす

岐阜県多治見市

10月3日

▼郊外空き家再生事業

▼都市再生整備計画

多治見駅周辺地区

まち・ひと・しごと創生総合戦略は、新たに計画は作らず、総合振興計画が基本であると明確に答えられ、市の自主性を感

愛知県豊明市

10月4日

▼豊明市新エネルギー推進計画

二酸化炭素削減による地球温暖化防止への取り組みは喫緊の課題です。古賀市においても調査、研究を進め、ぜひ実現していくべき課題だと痛感しました。



地中熱を利用した空調システム

平成28年

11月1日 広島県東広島市

広報広聴委員会

「ワールドカフェ方式による議会報告会」について、議会報告会のテーマ設定方法や報告内容などの質疑と意見交換を行いました。

11月16日 長崎県吉野市

議会運営委員会

議会改革の取り組み、議会報告会について、改革の取り組みの経過や今後の課題、政策推進会議の実施方法などを研修しました。

11月17日 茨城県石岡市

会派

議会改革の取り組みや、議会報告会などについて質疑が行われました。

11月18日 愛媛県西予市

議会運営委員会

議会改革の取り組みについて、陳情の取り扱いや自由討議の質疑を行いました。

12月21日 福岡県筑後市

ちくぐり議会だより編集特別委員会

議会広報、公聴について、古賀市議会だよりの歩みや編集方法の質疑を受けました。

期待と希望を膨らませ西年を迎え

今や国内外の政治経済・自然環境や災害発生など、不測、激変への対応力が求められる時代に入ってきました。

地方創生は、まさに「各市町村の地域の力で豊かさを求めなさい」との指針であり、「創意・工夫・努力の自治体は厚遇します」との喚起です。

古賀市は本年、「第4次総合振興計画」後期基本計画を策定し、計画を実行飛躍

する年です。

私達は「議会の見える化」を推進、議員の活動がわかるように「ネット中継」や「議会だより」の発行、議員全員が地域に出向く議会報告会を実施しています。市民とともに、さらなる議論の場づくりを努力していきます。

目標に向かって、力強く飛ぶ鳥(西)をめざします。

古賀市議会

インターネット議会中継・録画配信中

インターネット議会中継をご覧いただくには、パソコンで

<http://www.city.koga.fukuoka.jp/> の

トップ画面⇒古賀市議会⇒インターネット議会中継⇒録画中継⇒議員名か会議名で検索できます。

スマートフォン、タブレットでも見られるようになりました。

平成28年度 森林・林業・林産業活性化議員連盟報告

今年も大盛況 間伐材コースター！

会長 井之上 豊

林業、林産業活性化のため、今年も「まつり古賀」にPRブースを設け、パネル展示とDVDの上映、3年目となる取り組み「間伐材を利用した木製なべ敷き・コースター」を配布しました。約1,000枚の「なべ敷き・コースター」制作にあたっては、市内事業所から間伐材をカットしていただいた後、議員が手分けをし、表面を滑らかにするためヤスリをかけ、「まろう！この森」の文字が入った焼印を手作業で行いました。作業場所は新しくできた交流館の工芸室。まつり当日では、11時前に全て配布終了となるほど好評でした。ありがとうございました。



市民活動紹介 ボランティア 訪問 23

まちの草の根活動
紹介しま〜す!



楽しい食事で、笑顔があふれる子育て広場

おだけ 子育て広場

ママもパパもばあば・

じいじもおいでよ!



小竹公民館で、毎月1回開催
(曜日は変わります)。

0歳以上の赤ちゃんや子ども
たちと、育メンパパや、じいじ・
ばあば、地域のみなさんとママ
たちの子育て広場を開催してい
ます。

季節の行事や楽しい遊びで、
赤ちゃんの育ちをお手伝いしな
がら、「子育てには、多様な世代
との豊かな人間関係が必要だ」と
多世代間の人間関係を深め、
孤立しない地域社会をつくるこ
とを目標に活動しています。

参加者はママと子どもで、12
〜13人です。ママ友の紹介で、
香椎や新宮からの参加もありま
す。福祉会主催のバスハイクや

他地域の子育てサロンとの合同
の会なども行っています。

小竹地区以外の方でも参加で
きます。年齢、性別、国籍も問
いません。1回だけの参加でも
構いません。子ども大好きボラ
ンティア歓迎。不要になった子
ども用品やおもちゃなども譲つ
てください。

「育児に男手なんて…」「今か
らグループに入れる?」など心
配しないで、孤立しないで、子
育ての輪を広げましょう。

ご連絡ください。

連絡先：三輪 里絵

090-5488-7233

第4回定例会の傍聴者は65人でした。
ありがとうございました。

第1回定例会は2月27日(月曜日)開催予定です。
インターネットによる中継・録画配信も行っています。
ご利用ください。



インターネット
議会中継・録画配信

古賀市議会

表紙の言葉

お正月の行事「どんど焼
き」では、1年間の無病息災
と農・商・工の発展を祈念し
ました。

平成29年 古賀市議会 第1回定例会会期日程(案)

会期 2月27日～3月27日 29日間

目	開議時刻	会議名
2/27	月 9時30分	本会議(初日)
3/2	木	本会議(2日目) 補正予算審査 特別委員会 予算審査特別委員会
3	金	常任委員会
6	月	〃
7	火	〃
8	水	補正予算審査 特別委員会 予算審査特別委員会
9	木	予算審査 特別委員会①
13	月	予算審査 特別委員会②
14	火	予算審査 特別委員会③
15	水	予算審査 特別委員会④
16	木	一般質問
21	火	〃
22	水	一般質問 予算審査 特別委員会⑤
23	木	議会報編集 常任委員会
27	月	本会議(最終日)

注) 会期日程は、2月22日(水)の議会運営委員
会決定後、市役所ロビーなどに掲示します。

◎本会議でのすべての質疑・討論の記録は「議事
会議録」に収録されています。また、議会ホー
ムページでもご覧いただけます。会議録は、議会
事務局で販売閲覧、市立図書館で閲覧できます。
◎議会の本会議、各委員会は傍聴することができ
ます。(本会議の傍聴席は46席、委員会傍聴席
は原則5〜10席です)
◎請願書の締切りは2月20日(月)午後5時です。

編集後記

平成29年が始まりました。
多発する天変地異や世界各地
で起るテロ、終わりの見え
ない紛争など、今、世界が大
きく動いています。

こんな時、大切にしたいの
は、子どもたちの明るい笑顔
ですね。

子どもの一心に未来を見つ
める瞳、夢を持ち、なりたい
自分になれる応援をしていき
たいと願っています。子ども
の6人に1人が貧困状況にあ
り、支援をする必要があります。
教育環境や社会基盤を
しっかりと準備していかなけ
ればなりません。これは、私
達大人の責任です。

この責任を果たすため、力
を尽くしていきます。今年が、
子どもたちにとって良い年と
なりますように、議会の姿を
「議会だより」でお伝えして
いきます。

(内場)

議会報編集常任委員会

- 委員長 内場 恭子
- 副委員長 福岡 智之
- 委員 阿部 友子
- 〃 平木 尚子
- 〃 古賀 誠視
- 〃 村松 謙二

